

## 道路整備の促進と財源確保を求める意見書

日高川町は、和歌山県のほぼ中央部、日高川の中流域に位置し、平成17年5月1日に町村合併（旧川辺町・中津村・美山村）により誕生した町である。

本町は、温暖で緑豊かな美しい自然環境に恵まれた町で、「安珍・清姫」で有名な道成寺を始めとする文化財・歴史遺産・地域における伝統的な祭礼が伝承されている。

これら豊かな自然環境や歴史・文化を活かした活力ある地域づくりを展開していく上でも、観光ルートの整備やアクセス道路の整備が課題となっている。

また、町村合併に伴い行政区画が大きくなり、町が一体として発展していくためには、旧町村を結ぶ幹線道路の整備が必要である。

しかしながら、主要アクセス道路である県道・国道及び町内の生活道路である町道等の整備がまだまだ立ち遅れており、危険且つ狭小な箇所が多いのが現状である。

このため若者定住、過疎化対策及び住民の生活向上を図る上で大きな障害となっている。

道路は、地域経済を支える最も基本的なインフラであり、その整備は町民が長年にわたり熱望してきているところである。

昨年末に道路特定財源の見直しに関する基本方針が示され、見直しの作業が進められているが、本町は未だ集落間を結ぶ道路において未改良区間が多く、しかも緊急車両等の乗り入れが困難な箇所も数多くあり、「安全・安心を守る道づくり」が遅れている現状から道路整備に対する町民のニーズは依然として高いことを踏まえ、下記の事項について、強く要望する。

### 記

1. 地方の道路整備を促進するため、道路特定財源は一般財源化など他に転用することなく、すべて道路整備に充当すること。
2. 地方の自立的発展に不可欠な高規格幹線道路から市町村道に至る道路網の整備をより一層強力に促進すること。
3. 東南海・南海地震に備え、災害に対して安全で信頼性の高い道路ネットワークの構築を進めるとともに、地方が真に必要なとしている道路整備を遅らせないこと。
4. 地方の道路財源を確保するとともに地方財政対策を充実すること。

（意見書提出先）

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、金融・経済財政政策担当大臣、行政改革担当大臣

2件の意見書を採択して  
各関係機関に送付しました。



## 最低保障年金制度の創設に関する意見書

わが国の年金制度をめぐる最大の問題は、日々の生活をまかなえない低額年金、無年金の人、そして年金保険料を払えない人が日を追って増え続けていることである。

国においては、昨年、年金「改革」法を定め、実施された。しかし、保険料は引き上げ、年金水準は引き下げ続けるなど、年金に対する信頼感の回復には疑問があり、逆に保険料の滞納などの制度の空洞化がすすんでいる。

今こそ、年金制度全体の空洞化など、年金制度が抱える諸矛盾を根本的に解決するため、「最低保障年金制度」の実施が必要とされる。

年金に対する信頼を取り戻し、全ての国民に「安心」を与える「最低保障年金制度」の実現を強く望むものであります。

（意見書提出先）

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣